

No.195

# 林業ぐんま



第6回美しいぐんまの山と森フォトコンテスト 知事賞「秋色の高原」 撮影者 青木弘昌（前橋市在住）

信頼に誠意と技術でこたえる  
総合建設業

**高橋建設株式会社**

代表取締役社長 高橋 鎮 男

本社 / 高崎市箕郷町西明屋441 ☎027(371)2007(代)

**緑の募金で  
緑豊かなふるさとぐんま**

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会

前橋市大手町1-10-7 群馬県公社総合ビル内  
☎027(280)6257  
URL: <http://www.g-sinrin.jp/>

森林土木事業を通して、山村振興と山地災害防止に貢献

**群馬県森林土木建設協会**

会長 山藤 浩一

〒371-0854 群馬県前橋市大渡町1-10-7(群馬県公社総合ビル6階)  
☎(027)280-6256 FAX(027)255-6265  
E-mail: [gun-sidokeki@tiara.ocn.ne.jp](mailto:gun-sidokeki@tiara.ocn.ne.jp)

ふるさとの木で家を建てよう

県産材を使って

住宅を建築すると最大70万円  
内装を施工すると最大20万円

県が補助します

一般社団法人 群馬県木材組合連合会

〒379-2131 前橋市西善町524-1  
電話: 027-266-8220  
<http://www.gunma-wood.com/>

# 春

2016

目次

林政情報  
平成二十八年度 群馬県森林関係施策の概要……………1  
山火事予防にご協力ください……………3  
普及コーナー……………4  
第十九回群馬県さのこ品評会の開催  
平成二十八年度春の緑化関連行事予定……………5  
各地の便り……………6  
〔富岡〕森林組合職員によるシカの捕獲  
〔渋川〕赤城南面地域の獣害防止の取組  
〔西部〕板倉建築による  
「板倉の家」について……………6  
〔藤岡〕素材生産量倍増に向けて  
検討会を開催……………7  
〔吾妻〕「築業技術講習会」を開催……………7  
〔利根〕第七回全国農業関係高等学校  
エッセイコンテストで「最優秀賞」を受賞……………7  
〔桐生〕「管内バス視察研修会」を開催……………7  
森の談話室……………11  
ぐんま緑の県民基金事業を活用して……………11  
利根沼田森林組合 鈴木敏雄さん……………11  
地域を担う人……………12  
七五三木和広さん 山崎 友也さん……………12  
関口 大介さん……………12  
林業試験場から……………13  
群馬県横架材のスパン表……………13  
トピックス……………14  
（第2版）の普及について……………14  
平成二十七年度林業功労者表彰式……………14  
平成二十七年度群馬県農林水産業  
関係機関成果発表会……………14  
薪・木炭の安全確保について……………15  
森林・林業を支え、みどり豊かな  
郷土群馬づくりに貢献する……………15

興につながることを願って止みません。

# 林政情報

## 平成28年度 群馬県森林関係施策の概要

平成28年度は、第15次県総合計画（平成28年度～平成32年度）が策定されました。基本理念である、「群馬の限らない可能性」を大きくはばたかせ、群馬の未来を創生する「魅力あふれる群馬」の実現」を踏まえ、群馬県森林・林業基本計画を見直し、以下の施策体系及び主要事業により「林業県ぐんま」の実現を目指します。

### ◎群馬県森林・林業基本計画の見直し

平成23年11月に群馬県森林・林業基本計画を策定し、平成32年度までに素材生産量倍増（20万㎡→40万㎡）を目標に、木材の生産から加工・流通、利用までの施策を展開してきました。

計画策定から5年が経過することから、新たなステージに向けて「豊富な森林資源を循環的に利用して、川上の素材生産から、川中の加工・流通、川下の木材利用に至る取組を一体的に発展させ、活力ある地域の創生に寄与するため、林業の成長産業化を実現させる。」をメインテーマに、次の趣旨で見直しを行いました。

- ・素材生産量40万㎡の目標を1年前倒しし、林業県への飛躍に向けた取組を加速する。
- ・計画目標年度以降の本県のあるべき林業の姿を構想し、施策の方向性を示す。
- ・林業の成長産業化により活力ある地域の創生に寄与する。

### ◎群馬県森林・林業基本計画（見直し後）

平成32年度までとしていた計画期間を平成31年度までとし、概ね15年後の森林・林業のあるべき姿を構想する「基本構想」と、その実現に向けた取組として、2つの基本方針と8つの施策を柱とする「基本計画」の2部構成により「林業県ぐんま」の実現を目指します。

#### ○基本構想

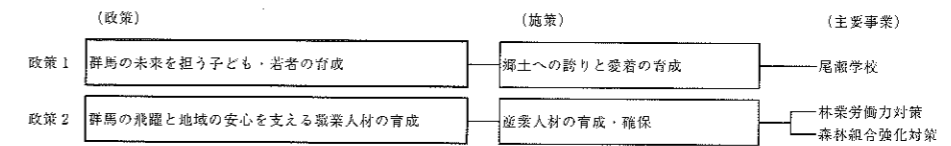
- ・林業の成長産業化が実現
- ・きのこ産業の再興・発展
- ・森林の有する公益的機能の持続的発揮
- ・社会全体で森林を守る体制づくり

#### ○基本計画

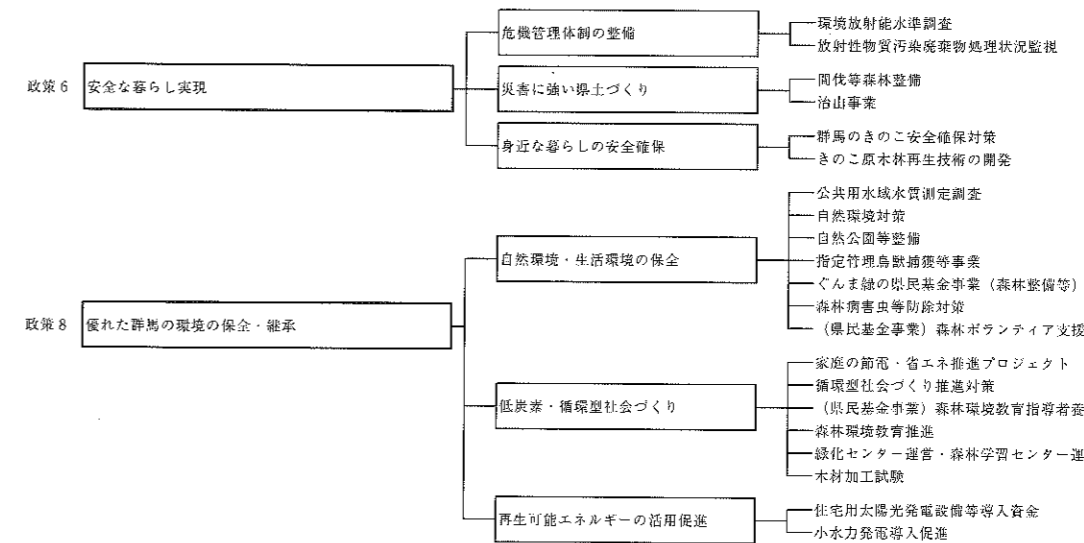
- 基本方針1「森林・林業の再生」
- I 持続経営可能な森林づくり
  - ・森林経営計画の作成促進
  - ・利用間伐及び皆伐、再造林の推進
  - ・苗木の生産供給体制整備
  - ・森林獣害対策の推進

## 平成28年度 環境森林部 施策体系及び主要事業

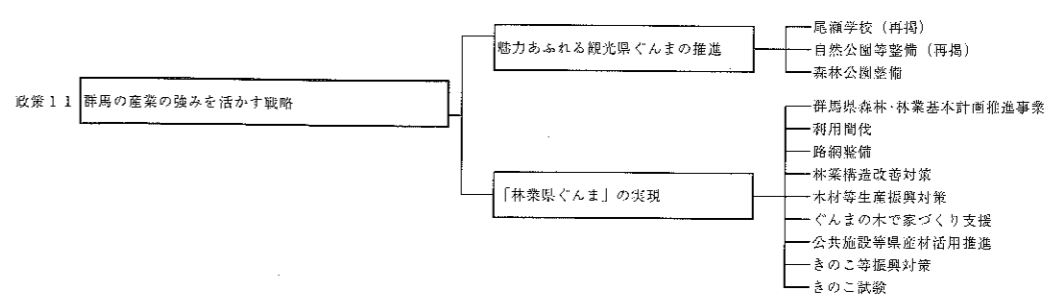
### 基本目標 I 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり



### 基本目標 II 誰もが安全で安心できる暮らしづくり



### 基本目標 III 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり



### II 効率的かつ安定的な素材生産体制の整備

- ・集約化施策の推進
- ・林業事業体の素材生産能力向上
- III 加工・流通体制の強化
- ・加工流通拠点の整備
- ・木材流通の合理化
- IV 県産材の生産拡大と品質向上
- ・県産材製品の生産拡大と品質向上
- ・外材から県産材への利用転換
- ・新たな木材需要の創出
- ・県外需要の開拓

### V 林業の担い手等の確保・育成

- ・林業を支える人材の確保
- ・人材の育成
- VI きのこ産業等の振興
- ・安全、安心の確保
- ・生産基盤の整備
- ・担い手の育成

### 基本方針2「森林環境の保全」

- VII 公益的機能の高い森林づくり
- ・災害に強い森林づくり
- ・森林の適正な保全
- ・平地林の保全・管理
- VIII 森林を支える仕組みづくり
- ・ぐんま緑の県民税制度の推進
- ・県民参加の森づくり
- ・森林環境教育の推進

### ◎平成28年度森林関係予算

森林関係の県予算は、総額140億9294万円、対前年比は約97%となりました。なお、公共事業費は、補助公共事業が対前年比107%、単独公共事業が対前年比100%、総額では対前年比約105%となっています。

環境森林部(森林部門) 平成28年度当初予算の状況

1 所属別予算額 (単位:千円)				
課名	H28当初予算額	H27当初予算額	増減	前年比
林政課	5,180,480	5,208,676	△28,196	99.5%
林業試験場	257,916	179,093	78,823	144.0%
林業振興課	2,167,523	2,834,700	△667,177	76.5%
森林保全課	6,188,222	5,890,278	297,944	105.1%
緑化推進課	298,799	359,630	△60,831	83.1%
計	14,092,940	14,472,377	△379,437	97.4%

2 公共事業(上記の内訳) (単位:千円)				
区分	H28当初予算額	H27当初予算額	増減	前年比
補助公共	6,349,969	5,924,168	425,801	107.2%
林道	1,083,619	1,019,973	63,646	106.2%
作業道	580,702	260,200	320,502	223.2%
治山	3,867,068	3,867,068	0	100.0%
造林	668,580	628,420	40,160	106.4%
災害復旧	150,000	148,507	1,493	101.0%
単独公共	2,830,000	2,830,000	0	100.0%
林道	300,000	300,000	0	100.0%
林業作業道	300,000	600,000	△300,000	50.0%
治山	2,100,000	1,800,000	300,000	116.7%
造林	79,000	79,000	0	100.0%
水源宝くじ	51,000	51,000	0	100.0%



# 林政情報

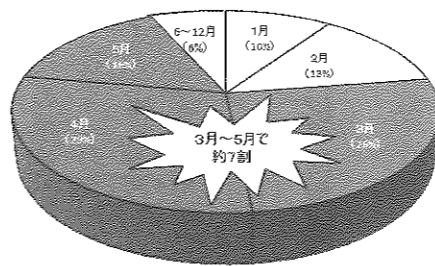
**山火事予防にご協力ください！  
誓います 森の安全 火の始末**

**3月1日～5月31日は  
県山火事予防運動実施期間です**

例年、冬～初夏にかけてのこの時期は、空気の乾燥や強風などにより、山火事が発生しやすい気象条件となることが多くなります。また、行楽や野外での作業に適したシーズンとなり、山林への人の出入りや、野外で火を使う機会が増えることなどもあって、3月～5月の間に、年間の山火事発生件数の約7割が集中しています。

平成27年の山火事発生件数は16件、被害を受けた森林面積は33ヘクタールとなっており、件数・面積ともに前年より減少しました。

平成23～27年 林野火災発生時期(月別件数割合)



しかしながら、山火事は道路や地形の条件等から、発見が遅れたり、消火が難しい場合も多いため、ひとたび発生する

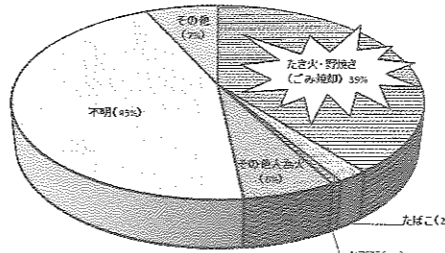
と、非常に大きな被害をもたらしかねません。平成26年4月に桐生市で発生した山火事では、消火活動を開始してから完全に鎮火が確認されるまでに2週間以上を要し、190ヘクタール(東京ドーム約40個分)を超える森林が被害を受けました。



山火事で被害を受けた森林

この山火事跡地では、災害を防止するための森林の復旧事業などが進められています。が、焼けてしまった森林を再生し、公益的機能を回復させるまでには、多くの費用と長い時間が必要になります。

平成23～27年 林野火災発生原因(件数割合)(計147件)



この山火事跡地では、災害を防止するための森林の復旧事業などが進められています。が、焼けてしまった森林を再生し、公益的機能を回復させるまでには、多くの費用と長い時間が必要になります。

## 山火事を防ぐには

山火事の出火原因は、人の不注意などによるものがほとんどで、家の庭や田畑の周りのたき火などから山林に燃え広がる事例が多くなっています。

- ・ 県民共通の財産である緑の森林を守るため、「ちよつとした油断から起きる小さな火事」を減らしていくことが大切です。特に次のようなことに気をつけましょう。
- ・ 枯れ草等の近くなど、周囲に燃え広がる恐れのある場所でたき火等をしない
- ・ 風の強い時や空気が乾燥している時は特に火の取扱に注意し、たき火等をしない
- ・ 火気の使用中はその場を離れず、使用後は確実に消火する
- ・ たばこの吸い殻、使用後の花火や炭、焼却灰などは、必ず消火を確認し、適切に処分する
- ・ 火遊びはしない、させない

## もしも山火事を見たら…

燃え広がった火事を無理に消そうとするのは大変危険です。すみやかに119番通報し、安全な場所に避難しましょう。

群馬県林政課 森林整備係  
電話 027-226-3221(直通)

# 普及コーナー

## 第十九回群馬県きのこ品評会の開催

この品評会は、県産きのこ生産の安定と品質の向上、併せて消費拡大を図りきのこ生産振興に寄与することを目的に平成二十八年一月二十六日、二十七日に県庁の一階県民ホールで開催されました。

県内各地から生産者が手塩にかけて生産した、生しいたけ、まいたけ、なめこ、えのきたけ等242点が出品され、二十六日に審査、



審査会の様子

二十七日に表彰式と出品物の即売等が行われました。二十七日には、きのこ汁の配布も行われ、来場者が舌鼓を打つ姿も見られました。即売会では、開始時間前から行列が出来るほどの盛況ぶりです。予め見当を付けていた、きのこを手取る来場者の満足そうな顔を見ることが出来、ほっとしました。きのこ生産者の皆様には、東日本大震災や大雪の影響などによる厳しい生産状態の中で多くの出品数を出品して頂き、ありがとうございました。来年度も開催を予定しておりますので、多くの方のご来場をお待ちしています。なお、各部門の最高賞は次の方々です。おめでとうございます。

部門	賞区分	受賞者
生しいたけ	知事賞 農林水産大臣賞	森田 富雄 (渋川市)
まいたけ	知事賞 林野庁長官賞	(株)キノコ輪大 (高崎市)
なめこ	知事賞 林野庁長官賞	田村 俊彦 (甘楽町)
えのきたけ	知事賞 林野庁長官賞	篠原 秋雄 (嬬恋村)

## 群馬県きのこ品評会



富田会長による挨拶



農林水産大臣賞のしいたけ

# 各地の便り

## 森林組合職員によるシカ捕獲について

### 【背景】

近年、シカの生息数増加に伴う深刻な林業被害対策には捕獲を強化する必要があることから、県では補助事業によりシカの誘引捕獲を行う実施者の負担を軽減しています。甘楽富岡管内は県内でもシカの生息密度が高い地域のひとつで、若齢造林地を中心に食害や剥皮など甚大な被害が発生しています。

### 【下仁田町森林組合によるシカ捕獲】

これまで被害対策として忌避剤の散布等を実施していますが、効果は限定的です。このため下仁田町森林組合では、補助事業を活用した捕獲に取り組みはじめました。まず、職員三名が、捕獲に必要な狩猟免許を取得しました。

併せて、捕獲技術を体得するため、林業試験場や既にシカを捕獲している群馬森林管理署下仁田森林事務所の協力を得て、シカの生態や捕獲方法の研修を複数回行い、職員の技術向上に取り組みました。

また、捕獲の実施には下仁田町や猟友会等との連携が必要なため、地元猟友会から捕獲や止めさしについて助言や協力をいただいたり、下仁田町有害鳥獣対策協議会の総会で捕

獲について理解を得るなど、関係機関と調整を行ってきました。

このような過程を経て、町からの有害鳥獣捕獲許可を得て、二月中旬から三月下旬の造林被害地において、鉦塩等とくくりわなを用いた誘引捕獲を実施しています。

わなの設置箇所は見回りなどの管理が容易な道脇です。なお、事前に組合所有の重機で埋設処分穴を作設するなど捕獲作業の効率化に努めるとともに、センサーカメラを設置して、シカの出没や誘引の状況を把握したうえでわなを設置するなど、捕獲効率の向上に努めています。

### 【今後の取り組み】

伐採や造林などの森林施業はシカの生態に大きな影響を与えます。下仁田町森林組合によるシカの捕獲は、持続可能な林業生産と、健全な森林を次世代に引き継ぐ取り組みのひとつです。このことは、森林組合が造林木を含む植物及び野生動物が生息する地域の森林生態系の管理者としても貢献できる組織と捉えられます。

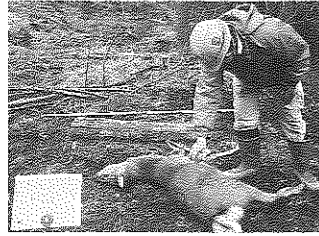
事務所では今回の取り組みを支援してきましたが、今後も森林組合・町・猟友会・国有林等と協力して、捕獲を含めた被害対策に取り組んでいきたいと考えています。

(富岡森林事務所通信員)

市町村名	実施日	行事の名称(☆は苗木配布会を予定)	実施場所
前橋市	4月2日~17日	赤城南面千本桜まつり	赤城南面千本桜
	4月10日	☆さくらまつり	大胡ぐりーんふらわー牧場
	4月29日	敷島公園まつり	敷島公園
	4月29日	☆「緑の募金」推進中央キャンペーン	敷島公園(敷島公園まつり会場内)
	5月3日	☆「みどりの日」記念 苗木配布会	前橋市中央商店街(中央広場)
	5月3日~5日	敷島浄水場開放(ツツジ開花イベント)	敷島浄水場
	5月上旬	☆須賀の園藤まつり	須賀の園
	5月上旬	☆苗木配布会(赤城神社参道松並木と千本桜の森ウォーキング)	みやぎ千本桜の森
	5月中旬	☆苗木配布会(粕川町つつしが峰トレッキング)	おおさる山乃家
	5月15日	☆苗木配布会(参道松並木グリーン作戦)	赤城神社参道松並木
5月14日~6月5日	ばら園まつり	敷島公園ばら園	
5月21~22日	敷島オープンガーデンフェスティバル(個人の庭解放)	敷島公園周辺	
5月下旬	緑と花の講習会	前橋公園管理棟	
伊勢崎市	5月3・4日	☆グリーンフェスタ2016	華蔵寺公園
渋川市	4月16日	渋川市総合公園桜まつり	渋川市総合公園
	4月23日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	4月24日	親子森であそぼう森で学ぼう教室	憩の森森林学習センター
	4月29日	☆苗木配布会(小野上温泉まつり)	小野上温泉センター
	5月1日	☆苗木配布会(子持山開き)	子持山若人の道駐車場
	5月14日	森林観察会	憩の森森林学習センター
吉岡町	5月15日	☆苗木配布会(渋川駅前通り歩行者天国)	渋川駅前通り歩行者天国会場
	5月21日	☆伊香保森林公園トレッキング・登山	県立伊香保森林公園
高崎市	4月9日	道の駅よしおか温泉交流会	道の駅よしおか温泉
	4月24日	☆花水木まつり	漆原桜並木
	4月29日	☆スプリングフェスティバル緑化祭	群馬銀行新町支店駐車場
	4月29日(予定)	☆みさと芝桜まつり	群馬音楽センター前広場
安中市	5月7日	☆安中市緑化用苗木配布会	安中市文化センター
	5月28~29日(予定)	誕生記念樹木贈呈	みさと芝桜公園
藤岡市	4月29日(予定)	☆苗木配布会	高崎市役所南側ビロティ
神流町	5月5日	☆苗木配布会(鯉のぼりフェスティバル)	らん藤岡
上野村	5月4日	☆苗木配布会(十石市)	鯉のぼりフェスティバル会場内
富岡市	4月23日	☆春の苗木配布会	道の駅「みょうぎ」
	4月28日	☆春の苗木配布会	富岡市富岡城町通り北広場
下仁田町	4月末定	荒船風穴駐車場、同下部県道沿線緑化	下仁田町大字南野牧
	5月3日	☆妙義山下仁田さくら祭り	さくらの里駐車場
南牧村	4月末定	老人ホームケアハウスいこい開所記念植樹	南牧村大字小沢
	5月5日	☆山菜まつり	道の駅「オアシスなんもく」
甘楽町	4月3日	☆さくら祭り	甘楽町小幡
	4月末定	新校舎開校記念植樹	甘楽町大字白倉
中之条町	4月中旬	苗木植樹	琴平山公園
	4月16日	☆苗木配布会(中之条町「安市」)	「つむじ」付近
長野原町	5月2日(予定)	☆苗木配布会(大創業祭)	道の駅ハッ場ふるさと館
嬭恋村	4月下旬	☆苗木配布会(嬭恋村「安市」)	三原商店街
東吾妻町	4月10日	☆すいせん祭り	岩井親水公園
沼田市	4月1日~26日	沼田公園桜まつり	沼田公園
	4月10日	☆苗木配布会	沼田公園グラウンド
川場村	5月3日	☆グリーンフェスティバル川場2016	道の駅「川場田園プラザ」
	5月28日	第70回群馬県植樹祭	友好の森
昭和村	4月末定	結婚記念植樹	結婚の森
	4月29日	☆「昭和の日」記念イベント苗木配布会	道の駅「あくぐりーむ昭和」
桐生市	4月2日~17日	☆第52回吾妻公園チューリップまつり	桐生市吾妻公園
	4月30日	☆さくら草まつり	桐生市新里町農産物等直売所
	5月14~15日	☆第78回市民植木市	桐生市役所駐車場
太田市	5月5日	☆誕生記念樹交付	太田市北部運動公園市役所本庁舎
	5月5日	☆太田市緑花祭	太田市北部運動公園
館林市	4月16・17日	☆誕生・新築記念樹交付	館林市グリーンパーク
	5月3日・4日	花と緑のフェスティバル2016	つつしが丘公園
	5月29日	第3回堀工アカマツ植樹祭	堀工保安林
みどり市	4月17日(予定)	☆苗木配布会(浅原体験村創業祭)	浅原体験村
	5月上旬(予定)	☆苗木配布会(春野菜共進会)	JAにったみどり笠懸野菜集出荷所
邑楽町	4月16日	☆苗木配布会	邑楽町シンボルタワー駐車場
	4月17日	緑化講座(キュウリやトマトなど夏野菜の育て方)	県緑化センター
	5月4日	☆県緑化センター「みどりの集い」	県緑化センター
	5月8日	緑化講座(覚えておきたい庭木の整枝剪定とマツ類のミドリ摘み)	県緑化センター
	5月19日	緑化講座「初夏に行う庭木の病害虫防除」	県緑化センター



安全看板



捕獲個体の管理(スプレー処理)



くくりわなの設置



センサーカメラの設置



誘引剤の設置



# 各地の便り

## 赤城山南面地域の獣害防止の取組 「ブロックディフェンス」の試行

県内の野生獣類による林業被害額は4億円を超える高い水準で推移しており、中でもニホンジカによるものが約1億8千万円と、全体の4割強を占めています。

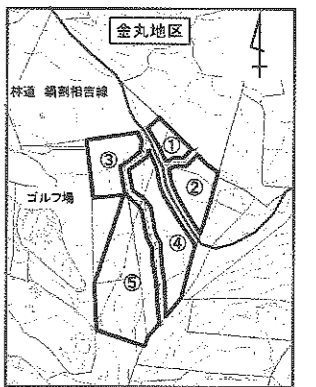
赤城山南面地域でも、新植地での食害や若齢木の樹皮剥ぎなどが多く発生しており、シカによる林業被害は深刻な状況です。

当事務所では、松くい虫被害地において樹種転換による森林の再生を図ることを目的にヒノキを植栽し、「ブロックディフェンス」の手法により獣害防止柵を設置しました。

「ブロックディフェンス」とは、国立研究開発法人森林総合研究所が新たな取り組みとして試行している手法です。柵を対象範囲の外周を囲う「ゾーンディフェンス」と、小規模面積に柵を配置する「パッチディフェンス」の中間ともいえる手法で、1区画を1ha程度の大きさに設定するものです。

その特徴は、①倒木、落枝、土砂流入などの破損リスクの高い箇所を回避して柵を設置する、②シカの移動を過度に妨げないよう、既往の獣道を柵外に残置することなどです。

今回は、現場の条件やタナ等の制約の中で、シカが通過できるルートを確認するよう、対象範囲を5つのブロックに分けました。

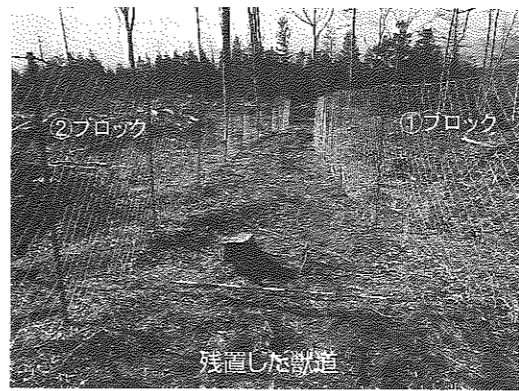


林業試験場が設置したカメラでは、柵と柵の間を通過するシカの様子も確認

され、植栽した苗木は食害に遭っていません。今後の課題は維持管理です。調査や補修を行うためには手間と経費が必要であり、維持管理体制を整えることは大きな課題です。

県内の森林は、育てる時代から伐って使う時代に入り、必然的に新植地は増加します。

野生獣類の生息密度管理は喫緊の課題です



(洪川森林事務所通信員)

が、シカの生息域では防護対策も不可欠であり、今後より効果的な対策を講じる必要があると考えられています。

## 素材生産量倍増に向けて検討会を開催

県は、「森林県ぐんま」から「林業県ぐんま」への飛躍を目指して、森林・林業基本計画を策定しています。その中で、平成三十一年度に素材生産量を年四〇万m<sup>3</sup>にすることを目標に掲げています。その目標を達成するため、一月二八日に「第一回森林整備推進技術検討会」を開催し、現段階で考えられる問題点を挙げ、解決策の検討を行いました。

午前は、当管内の森林組合や事業体などと、作業の問題点を話し合いました。そこでは、森林所有者への説明や施業プラン提示が人員不足で困難である、境界が不明確であるなどの問題点が上げられました。それに対し、プラン作成の最新ソフトを使うことや、境界に詳しい人の協力を得るなどの意見ができました。

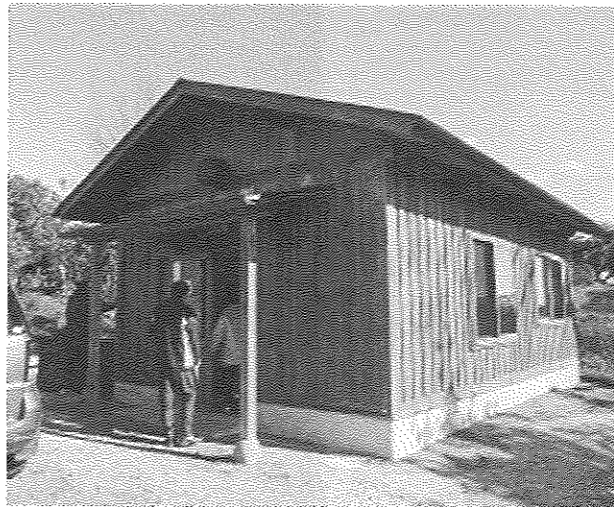
午後は、一般社団法人「日本森林技術協会」と国立研究開発法人「森林総合研究所」の職員を招き、効率的に作業が行われるための最新技術について講義して頂きました。内容は、空中写真を活用した資源量の把握や境界明確化、伐出積システムなどの紹介でした。参加者からは、すぐに手に入れたいと積極的な意見が聞かれました。

講義については、県内全域の事業体にも参

## 「板倉の家」による板倉建築について

高崎市榛名町宮沢地内において、板倉建築による「板倉の家」が完成したので、その概要について紹介します。現在、戦後植林された杉材が70年の年輪を重ね、建築材として熟した状態にあります。一方で安価な外材に押され、日本の木材自給率は30%にも満たない状態が続いており、地域に溢れる木材資源を有効に利用し、持続的な林業、循環型の社会を目指す必要があります。こうした考えから生まれたのが、「板倉建築の家」です。

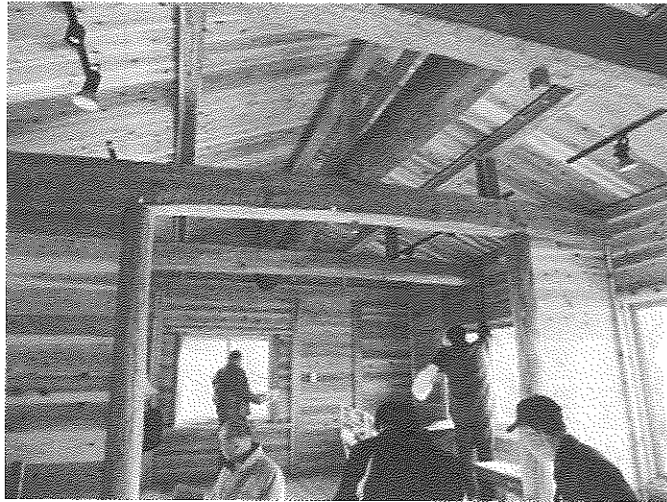
板倉建築では構造材はもちろん床、壁、天



「板倉の家」外観

加希望を募ったため、五〇名余りの参加がありました。目標達成に向け、当管内だけでなく、県内全体での底上げに一役かってもらえることを期待します。

(藤岡森林事務所通信員)



「板倉の家」内部の様子

(西部環境森林事務所通信員)



講師による説明

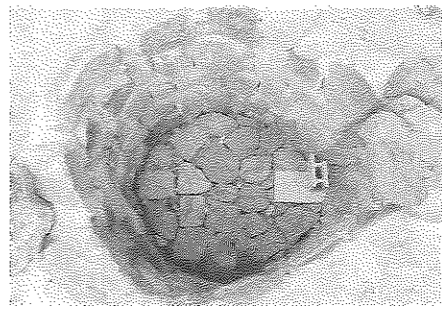


参加者の様子

# 各地の便り

## 「築窯技術講習会」を開催

急速に発達した低気圧が日本海を通過した翌日の平成二十八年三月二日、長野原町「林すみやきの里」において、吾妻郡木炭協会による築窯技術講習会が開催されました。



炭窯内部の状況



天井の石組み完成状況

この講習会は、同協会の会員を対象に行われたもので、七名の参加がありました。

郡内の木炭生産は、黒炭の生産者がほとんどで、白炭は技術が途絶えてしまう懸念があります。

林すみやきの里には、以前白炭窯がありました。八ッ場ダム関連で作業場の

移転をした際に黒炭窯は築窯したものの、白炭窯の再建がされていませんでした。そこで、白炭窯の再建と、築窯技術及び白炭の生産技術の伝承のため、講習会を計画し、実施しました。

当日は、天候にも恵まれ、順調に作業を進めることができ、無事予定の作業を終了しました。



天井の目塗り作業



作業を終えて記念写真

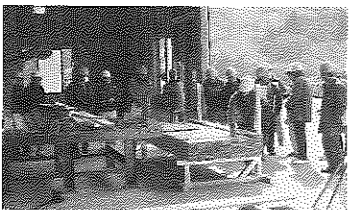
(吾妻環境森林事務所通信員)

## 「管内バス視察研修会」を開催

平成二十八年二月九日(火)に桐生森林事務所管内の市町の担当者や林業事業者・木材関係者等を対象にして、充実した森林資源と地理的優位性を活かした、林業を再生し「森林県ぐんま」から「林業県ぐんま」への飛躍を図るため策定された『群馬県森林・林業基本計画』に基づく、素材生産量の確保と県産材木材利用促進を図るための管内バス視察研修会を開催しました。

この研修のねらいは、「素材生産体制の整備」として、管内の人工林の木材資源は量的・質的にも充実しており、平成二十七年十二月に木材加工施設の拠点として、わたらせ森林組合の「地域材加工センター」が完成したため、作業道や高性能林業機械等による作業システムの構築による効率的な素材生産を行うための体制整備に努めること。

【市町における県産材利用促進】として、「公共建築物等の木材利用促進に関する方針」の策定を推進し、公共建築物、公共土木事業等に県産材を積極的に使用する体制づく

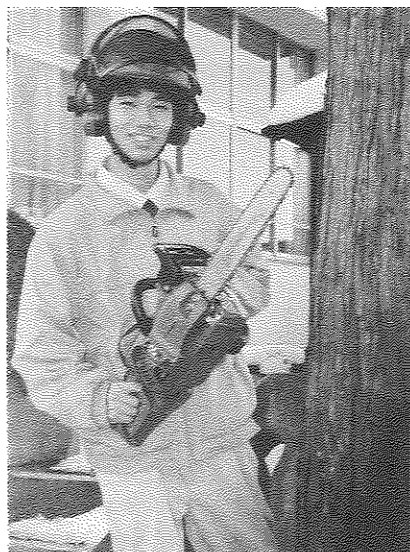


地域材加工センターの視察

## 第七回全国農業関係高等学校「エッセイコンテスト」で「最優秀賞」を受賞

「第七回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト」の入賞者が、平成二十八年一月に決定し、「最優秀賞」に当管内の利根実業高等学校グリーンライフ科三年の宮内祐亮さんの作品「山を再生し、地域を活性化させる」が選ばれました。

このコンテストは、平成二十一年度より全国の農林業関係の高校生を対象に、日本の農林業の抱える重要課題を解決する担い手となる若い農林業後継者の育成を目的に実施しています。



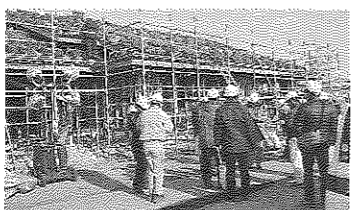
コンテストで最優秀賞を受賞した宮内さん

りに努めることをねらいとしました。

当日は、邑楽町役場と桐生合同庁舎から中型バスに乗車し、みどり市東町にあるわたらせ森林組合「地域材加工センター」に参加者二十四名が集まり、わたらせ森林組合長から施設等の説明と製材・加工施設やベレット・チップ製造施設を視察しながら地域材の原木の安定的な受け入れ施設であり、効率的な地域材の生産・供給体制の整備が必要であることを研鑽しました。

午後には、今年度県産材で新築されている邑楽町北保育園へ移動し、県産材の利用について、邑楽町の担当者との説明や参加者による意見交換が実施されました。

さらに、平成二十六年度繰越しで完成された隣接する高島幼稚園を視察し、軸組の在来工法と集成材構造による施工の違いや県産材の普及・啓発のためのモデル施設としての役割りを果たしていることを確認しました。所期のねらいを達成するため、今後も安定的な素材生産や県産材利用の普及に継続した活動をしていきたいと思っております。



建築中の邑楽町北保育園

(桐生森林事務所通信員)

ぜひご覧下さい。

アドレス：  
<http://www.nojokyokai.or.jp/contest/>

(利根沼田環境森林事務所通信員)



ぐんま緑の県民基金事業を活用して  
利根沼田森林組合

代表理事組合長 鈴木敏雄

### 首都圏の水源地として

群馬の森林に源を発した水が、首都圏3,000万人もの人々に利用されています。この利用人口の多さは、他に類を見ないものです。このため、群馬の森林には、安定的に、きれいな水の供給が求められています。また、それに応えられる力を持っていると言えるのが群馬の森林の特長と考えます。

しかし、人工林における森林の手入れ不足や放置の増加は、荒れた山を増やし、水源かん養機能や土砂の流出防止などのいわゆる公益的機能の低下を引き起こし、その影響が私たちの暮らしにも及ぶことが懸念されています。

### 利根沼田の水源地等の森林

当地域は北緯36度40分、標高300m〜2,200m、植物の分布で表す日本の森林帯で示すと温帯林（ブナ帯）に分類されます。ブナ、ミズナラ、トチノキなどのほか落葉広葉樹林が広がります。森林帯は水平方向と垂直方向によっても変化しますから、当地域は温帯林と暖帯林の入り交じった複雑な植生地帯

になっております。

古来より人間の移住地であり、それなりの特徴を持った森林が形成されています。河岸段丘や浸食崩壊等で崖状の様相が多く、タケ類ササ類の繁茂が著しく目立つ地域です。

### 緑の県民基金による森林整備

利根沼田地域において里山整備の現状は「町村提案型等」で独自の事業を考案し、獣害対策、通学路、道路維持、景観保護、観光資源等に活用すべく20ヶ所程事業を展開しており、町村提案型では地元住民とNPO利根川源流森林整備隊、森林組合作業班又は下請け業者等が協働で作業するケースが多く、箇所の選定も地域住民が困っている森林を優先して作業を実施するため非常に高い評価を受けております。

水源地等の森林整備では、人工林率が低い当地域で集約化して搬出間伐中心に事業を推進しておりますが、間伐地の上流域に現状の補助制度では対象外の林分が残ってしまっています。「条件不利地森林整備」事業を活用し経営が成り立たない森林を整備し、小流域地内の森林を包括し公益的機能発揮のために地域を一体化した森林整備につながることにあります。本当に最高の事業であると思います。「水源地機能増進」事業も有意義な事業であります。事業採択で上水道、簡易水道、専

用水道等区別せずに利根川源流の地として水源機能の増進のための財源として認めていただければ小流域単位で森林整備が可能になります。広範囲の水源地が整備可能になり有意義と考えますが、いかがでしょうか。

最近、木材チップを原料にしたバイオマス熱源や発電の相談が多くあります。人工林率の低い当地域は広葉樹の活用も考えなければ林業の振興になりません。広葉樹チップの活用が荒廃した農地の桑畑や里山整備に繋がることと確信しております。緑の県民基金事業の対象となるよう要望させていただきます。



小田原緑化開発株式会社

七五三木 和宏

### 一趣味

映画鑑賞

### 二 今後の抱負

研修で勉強した事、今まで経験した事を活かし、事故・怪我のないよう、少しずつステップアップしていけるよう、頑張っていきたいと思えます。



角石林業株式会社

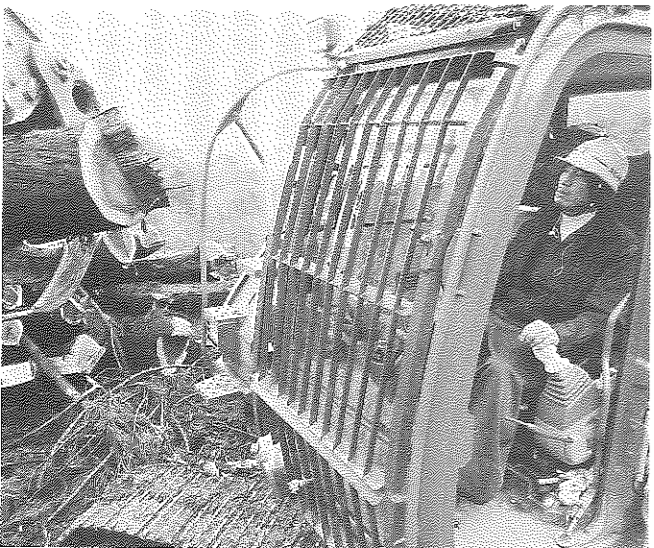
山崎 友也

### 一趣味

ドライブ

### 二 今後の抱負

30代になってこの仕事に就きました。今は主に集材をしながら作業道などを作っています。他にも伐採・搬出なども行なっているのですが、効率よく作業が進められるようになりました。これからも現場の皆さんとチームワークを大切に安全第一で取り組んでいきたいと思えます。



楡沢森林生産企業組合

関口 大介

### 一趣味

野球

### 二 今後の抱負

研修で学んだことを活かし、ケガの無いよう安全にこれからも頑張りたいと思えます。



# トピックス

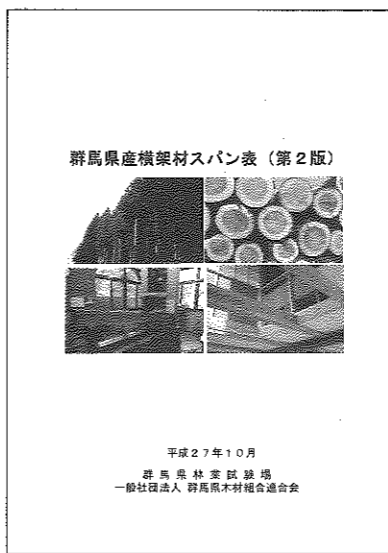
## 林業試験場から

### 群馬県産横架材のスパン表(第2版)の作成について

林業試験場木材係では、平成二十六年度に「群馬県産横架材材スパン表(第二版)」を作成しました(当スパン表作成の詳細については、「林業ぐんま一九一」を参照)。これまでは住宅用梁材材の断面寸法は現場の経験値や、全国一律のCADデータによって決定していましたが、このスパン表により、県内のスギ、ヒノキの強度性能に基づいた断面寸法の決定が容易にできるようになりました。

このスパン表を広く県内の木造住宅の設計に活用してもらうことで県産のスギ、ヒノキの一層の需要拡大に繋げることを目的として、今年度は解説用資料となるダイジェスト版、また設計や建築現場で実際の使用を目的とした印刷版(図一)及びweb版を作成しました。

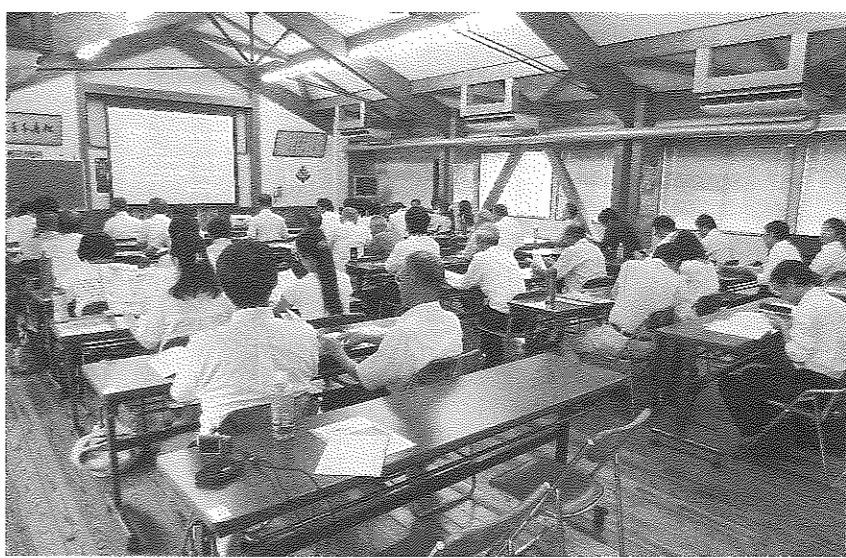
本スパン表の普及については、六月二十五



図一 群馬県産横架材材スパン表(第2版)印刷版

日の木材業者を対象とした説明会を皮切りとして、設計事務所や工務店を対象とした説明会を順次開催し、今年度で二百以上の事業体を対象として説明会を開催しました(図二)。

説明会では、設計やプレカット現場における設定条件や適用除外例を含めた具体的な使用方法のほか、経済性、また施工面等で



図二 建築士・工務店対象の説明会

有利な設計の検討方法等についても、シミュレーションなどを使用して解説と説明を行いました。

なお、ダイジェスト版と印刷版の発行、また説明会の開催にあたっては、一般社団法人群馬県木材組合連合会から多くの御協力を頂きました。

林業試験場では、今後も引き続き「群馬県産横架材材スパン表」の活用を通して、県産材木造住宅の着工数増加、県産材の利用拡大を図っていきます。

県内の各組合、また単一の事業所でのスパン表説明会も行いますので、説明会開催の御要望がありましたら林業試験場へ御相談下さい。

なお、群馬県産横架材材スパン表(第二版)web版は、群馬県林業試験場ホームページから閲覧、印刷が可能です。

群馬県林業試験場ホームページURL:  
<https://www.prelgunma.jp/>  
[/07/p13700618.html](https://www.prelgunma.jp/07/p13700618.html)

(林業試験場木材係)

### 平成27年度 林業功労者表彰式の開催

群馬林政推進協議会(八木原勇治会長)による林業功労者表彰式が2月3日群馬県庁正庁の間で開催され、27名の方々が受賞されました。大変おめでとうございます。

平成27年度 林業功労者名簿(敬称は省略させていただきます)				氏名	年齢	住所	部門
岩井久	73	下仁田町	林業作業	小林敏士	76	沼田市	森林組合
篠原賢一	68	長野原町	林業作業	鈴木元	60	前橋市	森林組合
岩田好雄	65	榛東村	種苗生産	小井土文明	60	富岡市	森林組合
藤井正吉	49	高崎市	素材生産	木村正治	54	藤岡市	森林組合
小島一夫	59	前橋市	森林・緑整備基金	岩井久雄	74	安中市	木材産業
飯塚隆	59	前橋市	森林・緑整備基金	名村健男	71	桐生市	木材産業
荒木修二	59	前橋市	森林・緑整備基金	原島幸裕	69	富岡市	木材産業
武藤義徳	66	草津町	森林土木	笠原重信	59	沼田市	木材産業
櫛島幸正	59	下仁田町	森林土木	清水重信	63	高崎市	林業普及
萩原哲也	54	安中市	森林土木	住安幸男	75	沼田市	林業普及
植田宗司	70	渋川市	特用林産	横坂勲	74	沼田市	林業普及
高草木良作	69	桐生市	特用林産	篠原次雄	72	高崎市	林業普及
山田辰次	63	藤岡市	特用林産	東間朝男	74	下仁田町	林業作業
根岸孝幸	57	藤岡市	特用林産				

### 平成27年度群馬県農林水産業関係機関成果発表会

平成28年2月2日(火)に県庁で標記発表会を開催し、参加者は899名でした。新品種や開発技術の利用促進を図るため、県内の農林水産業関係試験研究機関の最新の研究成果と普及指導員の活動成果等が発表されました。

#### 【林業分科会】

全14課題(林業普及指導員4課題、林業試験場研究員41課題)の発表があり、参加者は延べ204名でした。活発な質疑応答があり、発表者・参加者共に実りある発表会になったと思います。

林業普及指導員による発表では、来年度の「関東・山梨ブロックシンポジウム」の代表として渋川森林事務所の新井浩之主幹が発表した「赤城山南面のヒノキ植栽地における獣害防止対策について」が選ばれました。また、来年度の関東森林管理局「森林・林業技術等交流発表会」の代表として吾妻環境森林事務所の原澤徳衛係長が発表した「民有林と国有林の森林整備推進協定について」が選出されました。

来年度も開催予定ですので多くの方のご来場をお待ちしています。

### 新・木炭の安全確保について

関係者の皆様には平成23年に発生した東日本大震災による放射性物質の影響から指標値を超える薪及び木炭が生産、流通、使用されることがないようにご尽力いただいているところですが、依然として高濃度の放射性セシウムを含有する懸念がある中、安全確保の注意事項を必ずしもご理解いただけていないと思われる案件が発生しています。

つきましては、左記の指標値を含め、再度薪・木炭の安全確保についてご確認いただき、適切かつ適正な取扱をお願いいたします。

なお、詳細な取扱等については林野庁及び群馬県のホームページをご覧ください。

指標値	薪	40 Bq/kg
木炭	280 Bq/kg	